関西学院大学経営戦略研究科

大同生命保険株式会社 寄付講座

関西の企業家精神
—伝統と革新の系譜—

受講申し込み方法

① 申し込み用紙をＦＡＸ（パンフレット中面にＦＡＸ用の申込用紙が挟んである場合ご利用ください）
または
ホームページ（http://www.kwansei-ac.jp/iba/）から
大同生命寄付講座申し込みフォームに必要事項を入力し送信

▼

② 申し込み日から3日以内に受講料（3,000円）を振り込んでください。

▼

③ 8月初旬以降、順次事務局から受講案内のメールをお送りします。

- 定員（95名）に達し次第申し込みを終了させていただきます。お早めに申込みいただき、受講料を入金してください。
- 受付の終了はホームページにてお知らせいたします。
- 8月11日（土）～21日（火）は事務室が閉室となっており、期間中の申込みにつきましては、22日（水）以降に受講案内をお送りします。

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

阪急梅田駅茶屋町口下車北へ徒歩5分
大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー10階・14階
TEL.06-6485-5611
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/

関西学院大学経営戦略研究科

21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルを育成

社会を構成する多くの要素が複雑化、高度化しています。経済活動における急速なグローバリゼーションは、企業や地方自治体をとりまく経営環境を大きく変化させようとしています。そのことは、企業経営や自治体経営において、既存のビジネスモデルやマネジメントシステムを継続する戦略だけでは不十分であることを意味しています。世界規模で流動化する多様なシーンに対して、適切かつ迅速に対応するとともに、新たな企業や自治体の経営を主体的に創造する先駆的な戦略が求められています。 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科は、これからの企業経営や自治体経営に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点、そして、国際レベルのスキルを備えた21世紀型のプロフェッショナルの養成を目指します。転換期を迎えた日本経済を再構築し、確かな未来を開く、知性、国際性、人間性、そして豊かな倫理観を兼ね備えたビジネスとアカウンティングのリーダーが、ここ関西学院大学から誕生します。

経営戦略研究科（IBA）

専門職大学院

ビジネススクール（経営戦略専攻）
- 企業経営戦略コース　2年修了　夜間・週末を中心に行う講義
- 国際経営コース　2年修了　昼間を中心に英語で行う講義

アカウンティングスクール（会計専門職専攻）
- 企業会計コース　公認会計士養成プログラム　企業経理財務担当者養成プログラム
- 自治体会計コース　地方自治体会計・行政経営専門職養成プログラム

2年修了　昼間・夜間・週末に行う講義

大学院

先端マネジメント専攻（博士課程）

社会との関係を重視し、先端的なマネジメントの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を追究します。
3年修了。昼夜間。

詳しくは、 **http://www.kwansei-ac.jp/iba/** をご参照ください。

フルラインの学びを提供する多彩なプログラム

経営戦略研究科には、世界に通用するビジネスパーソンを養成する「ビジネススクール（経営戦略専攻）」と、グローバル経済と地域経済に貢献し得る職業会計人の養成をめざす「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」の2つの専攻が設置されています。「ビジネススクール」には、社会人を対象に多様なプログラムを提供する<企業経営戦略コース>と、大学新卒者・外国人留学生を対象にすべての授業を英語で行う<国際経営コース>があります。また、「アカウンティングスクール（会計専門職専攻）」には、公認会計士や企業経理財務担当者の養成を目指す<企業会計コース>と、地方自治体の経営改革に貢献する会計専門職を養成する<自治体会計コース>があります。

【個人情報の取り扱いについて】

関西学院大学では、本学が提供する公開講座の申込時に、皆さまの個人情報の提供をお願いする事があります。また、ご提供頂いた個人情報は、公開講座運営のため、および公開講座にお申し込み頂いた皆さまに対し、本学の提供する教育機会についてのお知らせをさせて頂くなど、社会に開かれた大学としての責務を果たしていくために限り、利用させて頂きます。

本学は、ご提供頂いた個人情報を取扱う場合は、個人情報に関する法令を遵守し、すべての教職員が、機密性を保護する取り組みを実施することにより、プライバシーを尊重し、本学に対する期待と信用に応えてまいりたいと考えています。

大同生命寄付講座に関するお問い合わせ先

関西学院大学経営戦略研究科事務室
TEL:0798-54-6572
E-Mail：ibaseminar@kwansei.ac.jp

8月11日（土）～21日（火）は閉室しております。

DAIDO 110th ANNIVERSARY お客さまとともに

大同生命保険株式会社 寄付講座

関西の企業家精神 —伝統と革新の系譜—

32 松屋呉服店（芳瀧 画）

今も心斎橋に店を構える大丸。1717年（享保2）下村彦右衛門が京都伏見に開いた大文字屋が始まりである。心斎橋にはその9年後に出店、西陣のものを主力として南の芸人集や遊郭筋を目当てに商いをし、老舗呉服屋の松屋を吸収するまでになった。明治末まで屋号は「松屋」「大丸」を併用していた。暖簾を見ると、江戸や名古屋にも支店を持っていたようだ。心斎橋筋は小大丸や十合など同業が大店を出し、商都大坂の一端を担っていた。

財団法人 穎川美術館 所蔵

関西学院大学経営戦略研究科
ビジネススクール＆アカウンティングスクール

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
INSTITUTE of BUSINESS and ACCOUNTING

大同生命保険株式会社 寄付講座

「関西の企業家精神—伝統と革新の系譜—」

開催趣旨

閉塞感漂う日本経済、それを打開するアクターとして、ベンチャービジネスや起業家、企業経営者への期待が高まっています。自由闊達で進取の気風溢れる関西はこれまで幾多の革新的企業家を生み出してきた一方で、伝統文化豊かな土壌の上に、これまた数多くの老舗企業を育ててきました。

何が関西にエネルギッシュな企業家活動をもたらしたのか？長寿企業の秘密は？関西の商慣習・商道徳はどのように形成されたのか？

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科は、企業経営に求められる高度な専門知識とグローバルな視点、国際レベルのスキルを備えた21世紀型のプロフェッショナルの養成を目指しています。

今回は、大同生命保険株式会社の協力を得て、「関西の企業家精神—伝統と革新の系譜—」をテーマに講座を開講いたします。関西の企業家精神のルーツやビジネスを育んだ風土を学んで頂きたいと思っています。

日時	2012年8月25日（土）［受付］13:00～/13:30～14:45/15:00～16:15/16:30～17:00/17:30～ 8月26日（日）［受付］13:00～/13:30～14:45/15:00～16:15/16:30～17:00
会場	関西学院大学大阪梅田キャンパス ［ 大阪市北区茶屋町19-19　アプローズタワー10階、14階 ］
定員	95名 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
受講料	3,000円 （全日程分。資料、懇親会費を含みます。）

日程

8/25 土	13：30～14：45	「大阪をつくった企業家たち」 **宮本　又郎**（関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授・大阪大学名誉教授）
	15：00～16：15	「大阪の老舗と文化」 **前川　洋一郎**（大阪商業大学大学院特別教授・老舗学研究会代表）
	16：30～17：00	両講演について、質疑・ディスカッション
	17：30～	懇親会　会場：ラマダホテル大阪
8/26 日	13：30～14：45	「100年企業へのチャレンジ」 **山田　義弘**（山田会計事務所所長・株式会社シンク・ベスト代表取締役）
	15：00～16：15	「近江商人の社会的営為」 **宇佐美　英機**（滋賀大学経済学部教授・附属史料館長）
	16：30～17：00	「総括」 **宮本　又郎**（関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授・大阪大学名誉教授）

ごあいさつ —寄付講座開設にあたって—

当社の創業100周年を機に平成14年より開催しております本講座は、中小企業経営者のみなさまに、経営・ビジネスに関する知識・スキルの習得の場を提供することで、企業の継続発展を応援していきたいという当社の想いをお伝えする取組みのひとつとして実施してまいりました。これまでに受講されたみなさまからは大変ご好評いただいており、関西学院大学様では通算6回目の開催となります。

当社は、本年7月に創業110周年を迎えました。未来に向けてこれからも中小企業のみなさまとともに歩んでいくために、この講座をひとりでも多くの方にお役立ていただけるよう努力してまいりますので、お誘い合わせのうえご受講いただければ幸甚でございます。

DAIDO
大同生命保険株式会社
本社＜大阪＞〒550-0002　大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
＜東京＞〒105-0022　東京都港区海岸1丁目2番3号
http://www.daido-life.co.jp/

講座概要

MASTERY FOR SERVICE

8/25 土曜日

「大阪をつくった企業家たち」

［ 13：30～14：45 ］

みやもと　また　お
宮本 又郎
関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授
大阪大学名誉教授

専門は日本経営史、日本経済史、企業家史。江戸時代の商家から、近現代の企業までを対象として、日本企業の経営史の研究に携わる。著作として、『日本企業経営史研究』『日本経営史』『企業家たちの挑戦』などのほか『百年史東洋紡』『日本生命百年史』『関西電力五十年史』『近畿日本鉄道百年史』『阪神電気鉄道百年史』などの社史がある。

20世紀末にバブルがはじけて以来20年以上にわたって日本経済は混迷の淵をさまよい続けてきました。いまこそ「企業家精神」が求められるときです。大阪は経済都市として栄えてきましたが、その発展プロセスは一直線であったわけではありません。何度も大きな浮沈を経験してきたのですが、危機を突破する大きな原動力となったのは、各地から大阪にやってきた企業家たちの積極果敢な行動でした。

旺盛な企業家精神を発揮したのはどのような人々だったのか、なぜ大阪が舞台になり得たのか、先人の叡智と勇気について皆様と語り合いたいと思っています。

「大阪の老舗と文化」

［ 15：00～16：15 ］

まえかわ　よういちろう
前川 洋一郎
大阪商業大学大学院特別教授
老舗学研究会共同代表

専門は企業経営論、経営史。元松下電器産業（現パナソニック）取締役。現在、流通科学大学、日本経済大学、高知工科大学でも教鞭を取る。大阪商工会議所ツーリズム振興委員会副委員長、日刊工業新聞社キャンパスベンチャーグランプリ大阪審査委員ほか。主な著書に『カラオケ進化論』（編著）『老舗学の教科書』（共編著）など。

そもそも老舗とは？どうして生まれ、どうして出来上がっていくのか？そしてどうして100年200年300年と永続繁盛するのか？その中で途中没落消滅していくのはどうしてか？‥を「老舗学」として調査研究していく中で老舗の生成要因や長寿の秘訣原則とは別に老舗は地域における政治経済、歴史文化、住民暮らしの3要素と密接に関係することに気づいてきました。

いわば老舗は地域社会の政治経済、歴史文化、住民暮らしのアンテナでありプラットフォームのようです。

そこで今回は大阪の老舗に焦点を絞り老舗と面と向かい合う伝統文化（食文化・水文化・伝統芸能・伝統工芸）の切り口で老舗の社会的意義・価値を語り合いたいと思います。

質疑・ディスカッション

宮本　又郎（関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授・大阪大学名誉教授）［ 16：30～17：00 ］

懇親会

講義終了後に異業種交流を兼ねた懇親会を行います。　［ 会場：ラマダホテル大阪　17：30～ ］

8/26 日曜日

「100年企業へのチャレンジ」

［ 13：30～14：45 ］

やまだ　よしひろ
山田 義弘
山田会計事務所所長
株式会社シンク・ベスト代表取締役

1982年税理士試験合格。1983年大阪府柏原市において山田会計事務所を開業。1990年株式会社シンク・ベスト設立。2007年ＬＬＰプロフェッショナル・サポート設立。
「企業のカウンセラーとしてお客様の存続・発展に寄与する」ことを経営理念に掲げ、経営計画の策定・運用支援・月次の業績管理、後継者・幹部教育などを通して中小企業の経営をサポートしている。
ＴＫＣ全国会創業・経営革新支援委員会副委員長、同 研修企画部会部会長、ＴＫＣ南近畿会相談役

≪ＴＫＣ全国会≫
ＴＫＣ全国会は、租税正義の実現と関与先企業の永続的繁栄に貢献することを目的として結成された、わが国最大級の職業会計人集団（1万名超の税理士・公認会計士のネットワーク）です。

こんにち経営者にとって意思決定をするうえでの情報量の多さ、スピードの速さ、そしてその重圧は、過去に例をみないほどです。

会計事務所の所長として数多くの中小企業経営者と出会ってきました。多くの社長は、経営資源が潤沢な大企業と異なり、限られた経営資源を最大限活用するために日々ご苦労をされています。

当講座では、中小企業経営者の方々が受けたバトンをどう繋いでいくか、その過程での失敗や成功の数々をお聞きいただき、日々の企業経営に活かして頂ければ幸いです。

「近江商人の社会的営為」

［ 15：00～16：15 ］

うさみ　ひでき
宇佐美 英機
滋賀大学経済学部教授・附属史料館長

専門は日本商業史、近江商人社会史、近世都市社会史。近世・近代期の京都・近江国を対象として、商業活動に関わる諸問題を研究している。著作として『近世京都の金銀出入と社会慣習』『近世風俗志（守貞謾稿）』などのほか、『新修彦根市史』『愛知川町史』『近江日野の歴史』などの自治体史を編集・執筆している。

1990年代以降、近江商人の経営活動が再評価されています。とりわけ、企業の社会的責任（CSR）に関連づけて、「三方よし」の精神が近江商人の特徴であるとする言説が定着しています。しかし、近江商人と一言で表現されるものの、近江国内では発祥の地によって異なった営為を観察できます。また、江戸時代に創業した多くの近江商人は明治・大正期に衰退する一方で、滋賀県からは新たな近代的経営者が輩出されています。

このような近江商人とは、いったいどのような歴史をたどる商人なのか、最新の研究をもとにお話ししたいと思っています。

「総括」

宮本　又郎（関西学院大学大学院経営戦略研究科客員教授・大阪大学名誉教授）［ 16：30～17：00 ］